

高市連黒人の近江の旧き都の歌一首

三〇五番

かくゆゑに 見じと言ふものを 楽浪の 旧き都  
を 見せつつもとな

伊勢国に幸す時に、安貴王の作る歌一首

三〇六番

伊勢の海の 沖つ白波 花にもが 包みて妹が  
家づとにせむ